市域で生息が確認された特定外来生物 19種 2025年2月1日時点

分類		名称	写真	備考
動物	哺乳類	アライグマ		平成21年に初めて確認。 平成24年度に「大分市アライグマ防除実施計画」※1を策定し、環境対策課が中心となり計画的防除を開始 現在、市内全域(主に大分市東部)において定着を確認。
		クリハラリス		昭和29年頃、県が観光資源として高島(佐賀関)に導入し、繁殖。 平成30年から国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所が主体となり計画的防除を開始。 令和6年度根絶宣言。
鳥類		ガビチョウ		市内で確認
		ソウシチョウ		市内で確認
爬虫類		アカミミガメ		条件付特定外来生物※2に指定され、令和6年6月1日から規制開始 市内(城址公園お堀内)で確認

両生類	ウシガエル		市内で確認
魚類	カダヤシ		市内(城址公園お堀内)で確認
	ブルーギル		市内の河川で確認
	オオクチバス		市内の河川で確認
昆虫類	ツマアカスズメバチ		平成30年に明野地区で巣と個体が確認された。巣の除去後は、現在まで、営巣や個体は確認されていない。環境省九州地方環境事務局と県が協力して、大分港周辺で定期的な調査を実施している。
甲殻類	アメリカザリガニ		平成28年に上野丘で確認。平成29年から任意団体が主体となり行政・市民と協力して駆除している。市内の他地域でも確認。条件付特定外来生物 ^{※2} に指定され、令和6年6月1日から規制開始。

	クモ・サソリ類	セアカゴケグモ		<p>平成27年に大分臨海工業地帯で初めて発見され、その後、三佐～大在地域を中心に定着地域が拡大している。</p> <p>令和7年2月3日現在、市内39カ所で確認されている。</p>
植物		ナガエツルノゲイトウ		<p>上ノ原川～江川流域を中心に定着を確認</p> <p>市が管理する上ノ原川では令和4年度に河川みなと振興課が緊急的な防除を行い、その後、環境対策課が経過観察を行っている。</p>
		ブラジルチドメグサ		<p>迫川（鶴崎地域）で確認</p>
		オオフサモ		<p>尼ヶ瀬川流域で確認</p>
		オオキンケイギク		<p>大在・坂ノ市地区を中心に定着を確認</p>
		オオハンゴンソウ		<p>令和5年岩田町の個人宅敷地内で確認。防除後、経過観察中</p>

	アレチウリ		大野川河川敷(川添地域)で確認
	オオカワヂシャ		七瀬川流域(植田地区)、迫川(鶴崎地域)で確認

写真引用 環境省